

# 東北スポーツ地図

## 復活へ シュート ハンドボール 花巻市

(上)

全国で上位争いを続ける岩手県の高校ハンドボール。強さの下地には、1980年代まで県内の競技界をリードした花巻市の「ハンド熱」がある。市内では現在、小中学生を対象にしたクラブチームで育成が進み、国内最高レベルの日本リーグの試合も開かれる。目指すのは花巻勢の久しぶりのインターハイ出場。ハンドボールの街は古豪復活に挑んでいる。  
(盛岡総局・岩崎泰之)

# 小中学生の育成に力点

盛岡市の南隣、矢巾町にある県立不来方高。体育館では開催を機に強化策に取り組んだこと大きい」と、男子部監督の内記徹さん(三七)は言う。強化対象になったのは盛岡地区だった。勢いは不来方

同部は2005年のインターハイで3位の好成績を残した。東北大会では05年まで5年連続優勝の強豪校。女子部も05年に東北大会優勝を果たした。「ハンド王国岩手」の先頭に立つ高校として全国から注目される。

だ。「花巻では順調に小中学生が育っている。技術も高い。いずれ花巻勢が台頭してくるとみる。」



不来方高にも5年ほど前から、花巻出身者の入部が続く。現在ベンチ入りのメンバーに2人。1年生でその中に入る森田隆亮君(二五)は、中学2年で県選抜に選ばれた期待の選手だ。「将来はスペインでプレーしたい」と、海外プロとしての活躍を夢見る森田君は小学1年でハンドボールを始め、所属したのが「ハンドボ

北高OBらが立ち上がった。70年代から80年代にかけての栄光を取り戻そうとの考えからだった。

小学生とハンドボールという結びつきは、なかなかイメージがわかない。しかし、監督を務める自営業菅原秀行さん(三七)は「子どもたちは楽しんで」と言い切る。「き

その後は長期低迷に陥り、中学や高校で部員数が減り続けたが、「花巻こそハンドボールの街」との意識がOBにはあったという。クラブ設立と併せて市体育協会などが小学生対象の教室をもっと広げていきたい」と菅原さん。「花巻が強くなること」で岩手のレベルはさらに上が普及を後押しした。一昨年度、昨年度と連続して日本リーグ



ハンドボールの練習に汗を流す花巻クラブJr.の子どもたち＝花巻市の桜台小

# 土台

進学高でもある同校は男子、女子ともに当時、5度の県大会優勝を飾ったトップ校だった。菅原さんもその全盛期のメンバー。同じ地区では花巻南高も女子が60年代から12回の優勝を飾っている。